

# はじめに

近年、人口減少や少子高齢化の進行のほか、新型コロナウイルスの影響を背景に、価値観やライフスタイルの多様化、働き方についての社会意識が変化するなど、これまで以上に、多様な生き方を認め合うことの重要性が増し、SDGsのゴールのひとつに掲げられた「ジェンダー平等」の必要性が高まっております。



本市におきましては、平成15年に制定した「甲府市男女共同参画推進条例」や「こうふ男女共同参画プラン」に基づき、「一人ひとりがいきいきと活躍できる社会」の実現を目指し、様々な取組を計画的に推進してまいりました。

この度策定いたしました「第4次こうふ男女共同参画プラン」では、本市の目指す姿を市民の皆様と共有するため、「～あなたも、私も、だれもが自分らしく生きるまち～」をキャッチフレーズに掲げるとともに、これまでの施策の成果や「市民意識調査」の結果を検証する中で、より効果的で実効性のある施策に加え、令和3年度に開催した「日本女性会議2021 in 甲府」大会における成果や洗い出された課題を踏まえた取組を盛り込んだところであります。

今後におきましては、本プランに基づき、多様性を認め合い、一人ひとりの考え方や生き方が尊重され、その個性と能力を十分に発揮できる「男女共同参画社会」の実現を目指してまいりますので、市民の皆様をはじめ、関係団体・民間事業者の皆様、なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、プランの策定にあたり、ご審議いただいた甲府市男女共同参画審議会委員の皆様をはじめ、市民意識調査やパブリックコメントにてご協力を賜りました市民の皆様、そして関係各位に心から感謝申し上げます。

令和5年3月

甲府市長 樋口 雄一